レディバード・レディバード（1994）

LADYBIRD, LADYBIRD

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イギリス
色彩 Color
時間 102分
初公開日 1996/06/08
公開情報 シネカノン

【解説】

イギリスの社会福祉政策の暗部にスポットをあてたベルリン映画祭国際評論家連盟賞受賞作。驚くべき事にこれは実話の物語である。

カラオケ・パブで知り合ったマギー（Ｃ・ロック）とホルヘ（Ｖ・ヴェガ）。マギーにはそれぞれ父親の異なる４人の子供がいたが、彼女の留守中に起きた火事がきっかけで社会福祉局の視察が入り、マギーは母親不適格とみなされてしまう。子供たちは局の保護下におかれ、親権を争う裁判でも彼女の性格と激しい気質が災いし、結局、子供たちは里子に出されてしまう。子供を失い号泣するマギーにホルヘは優しく接し、やがて二人の間に赤ちゃんが生まれた。しかし、平和な家族風景は長く続かなかった。再び福祉局が子供を奪ってしまう。ホルヘがパラグアイからの政治亡命者だった事もそれに起因していた。そして最悪の事態が訪れる。二人にとって二人目の赤ちゃんは、産婦人科の病室から出ることなく、生まれるやいなや福祉局に保護されてしまったのだ。絶望の二人には互いをののしり合う事しかできなかった……。

子供たちを愛しているにも関わらず、自分を偽ることが出来ないために、社会のシステムからは母親として不的確の烙印を押されてしまった女性の生きざまを淡々とリアルに描く筆致が強烈。登場人物に安易に感情移入する事を否定するＫ・ローチの演出はここでも真価を発揮しており、この重く哀しいドラマを我々はただ眺めるだけになる。これは、眺める事しか出来ないための“心の痛さ”に満ちた苦渋の作品だ。映画が娯楽でさえあればよいと考える観客には、これ以上の苦痛はないだろう。

【クレジット】

監督	ケン・ローチ	Ken Loach
製作	サリー・ヒビン	Sally Hibbin
脚本	ロナ・マンロ	Rona Munro
撮影	バリー・アクロイド	Barry Ackroyd
音楽	ジョージ・フェントン	George Fenton
出演	クリシー・ロック	Crissy Rock
	ウラジミール・ヴェガ	Vladimir Vega
	モリシオ・ヴェネガス	Mauricio Venegas
	レイ・ウィンストン	Ray Winstone

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.